



駒岡小学校だより

8・9月号

実りの2学期へ

校長 松本 稔

39日間の夏休みが終わり、元気な子ども達の声と明るい笑顔が学校に戻ってきました。

ご家庭では、「あゆみ」を元に、夏休みを使ってじっくりとお子様とお話をされ、それぞれ取り組まれたのではないのでしょうか。

今年度は学校行事や地域の行事を変更するような大きな工事はないので、2学期はじっくり様々な行事への取組ができるのではないのでしょうか。1学期に培ったものを生かして大きな成長につなげ、実りの多い2学期にすることができればと考えています。

夏休み中に、第2音楽室と図工室のパーテーション（廊下と教室の間の壁）を改修しました。なぜかこの場所のみ開校当時の木造のまま残っていました。今回の工事で、外れやすかった出入口や廊下側の窓はアルミ製になり、安全で美しくなりました。

毎年5年生の社会科の学習で米作りの学習をしています。その田んぼで、今年も夏休み中に「稲の花」を見ることができました。同時にすぐ横の花壇では5.6.7.8組さんが育てているスイカの実がおかげさまですくすくと育ち大きな実がなりました。



「稲の花」を見ることができるようのも、地域の方々（小山孝さん、青木昭夫さん、小山朝雄さん、樺沢勝利さん）のおかげです。田植えから水の管理にいたるまで、大変お世話になっています。早速、スズメからお米を守るためのネットを設置していただきました。大変暑い中をありがとうございました。お米の実りが待ち遠しいです。

8月6、7日には駒岡地区連合納涼盆踊り大会が行われました。今年度の和太鼓クラブへ登録した児童数が過去最高の67名となり、6月から大塚祥司さんをはじめとする地域や保護者の方々のご指導で和太鼓教室が行われました。毎週行われる練習から盛り上がりが見られ、8月の盆踊りでは卒業生を含め約100名近くのたたき手が集まり、盆踊りを大いに盛り上げました。

低学年から高学年そして卒業生まで幅広い年代の和太鼓に親しむ子どもが増えることは、大変喜ばしいことです。地域の教育力の継続的な活動により根付き、その成果が出ている証ではないのでしょうか。学校、家庭、地域連携活動の成果が結実したと言えるのではないのでしょうか。

2学期は駒岡連合運動会を皮切りに、秋季運動会、全校遠足、6年生の体育大会、5年生の区球技大会、4年2組の体育実技発表会出演、3年生の区音楽会、更にはPTA関係では駒岡フェスティバル、餅つき大会等など、実りある2学期に向け、今後ともよろしく願いいたします。

